

大分教育事務所訪問②-20 (計 93)

臼杵市立臼杵南小学校に学ぶ2 学校経営から学ぶ

学校の教育目標を達成するために、「学校評価の4点セット」のそれぞれの取組について、約2ヶ月毎に教職員等の実施率と取組状況、子どもの達成状況と検証、改善策が明確に示されており、実効性のある検証・改善サイクルとなっています。注目すべき取組は、ペア学習やグループ学習も常に「聴くこと」を目的として行うことで、その効果を検証しようとしています。また、児童会を中心とした縦割活動も、「めあて」を明確にして「ふりかえり」で検証を行うことを徹底しています。

今後は、育成を目指す資質・能力である「知識を組み合わせ課題を解決する力」「思いや考えを伝え合い、認め合う力」「相手の思いを考えて行動する力」について協議を行い、本校として「定義」することで、最上位目標の絞り込みや共通理解を図ってみてはいかがでしょうか。目標の共有ができれば、具体的な取組は担当者に任せることができ、当事者意識が高まると思われました。また、そのような資質・能力について、保護者や地域の方とも熟議等を行うことで、より協働的な取組が行われると思います。



NO.413 2021年10月 臼杵市立臼杵南小学校

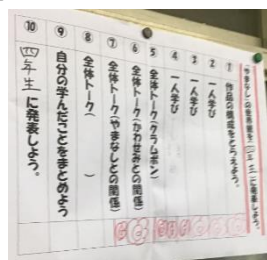
自己開示

自分をおもいきりだせるのは、みんなが認めてくれるから。安心できる教室だから。

授業から学ぶ

どの教室でも安心な空気を感じました。教師や子どもの思いを書いた掲示物や「なかよしカード」の成果でしょう。特に「2年1組のみんな」は感動しました。

また、単元計画を掲示することで、何を学ぶのか、どのような力をつけるのかを子ども達に示していることも明確でした。



NO.414 2021年10月 臼杵市立臼杵南小学校

個別最適

一人で考える。教えてもらう。自分の考えを伝える。学びはいろいろあっていい。



NO.415 2021年10月 臼杵市立臼杵南小学校

3人寄ると

得意な人。発想の豊かな人。それぞれの「らしさ」が発揮されると、新たな考えが生まれる。

指導案における「振り返り」は教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」で表していました。今後は互見授業等でその「振り返り」の表記について「ねらい」との連動や評価規準との整合性について協議することで授業改善がより推進されると思われました。

